



## 平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月9日

上場取引所 名

上場会社名 株式会社 エスライン  
 コード番号 9078 URL <http://www.slinc.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長  
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月12日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 山口 嘉彦  
 (氏名) 村瀬 博三

TEL 058-245-3131

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	10,162	6.3	20	—	53	—	10	—
25年3月期第1四半期	9,560	△3.2	△68	—	△28	—	△29	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 63百万円 (—%) 25年3月期第1四半期 △79百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	0.48	—
25年3月期第1四半期	△1.43	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	27,851	15,282	52.5
25年3月期	28,222	15,322	52.0

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 14,625百万円 25年3月期 14,671百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	5.00	5.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	20,700	5.3	200	400.3	250	112.0	115	—	5.52
通期	41,600	3.8	700	33.6	785	20.7	365	58.3	17.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	21,753,993 株	25年3月期	21,753,993 株
26年3月期1Q	909,448 株	25年3月期	909,001 株
26年3月期1Q	20,844,688 株	25年3月期1Q	20,849,733 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権による金融緩和をはじめとした各種政策などによる景気回復への期待感から、円安・株高など明るい兆しが見られたものの、中国の経済停滞など海外景気に対する不安感や、円安による原油をはじめとした諸資材価格の上昇など、依然として先行き不透明な状況のまま推移いたしました。

当社グループの主要な事業であります物流関連業界におきましては、一部で個人消費の持ち直しや生産活動の回復傾向が見られるものの、軽油価格の上昇や、お客様からの物流経費の見直し要請など、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、「地域に密着した企業活動で社会に貢献する。お客様に満足していただける物流をご提供する。」の経営理念を基本に、グループ各社が持てるネットワークとエリアごとの物流機能を結集した総合力を活かして、業績確保と企業価値の向上に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、営業収益101億62百万円（前年同期比6.3%増）、営業利益20百万円（前年同期は68百万円の営業損失）、経常利益53百万円（前年同期は28百万円の経常損失）、四半期純利益10百万円（前年同期は29百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### [物流関連事業]

物流関連事業の主な事業収益は、貨物自動車運送事業、倉庫業、自動車整備事業、情報処理サービス業、損害保険代理業などであります。

貨物自動車運送事業のうち、当社グループの主力であります特別積合せ部門では、新たな営業体制として立ち上げた「営業開発部」「営業推進部」を中心に、各社が保有する施設や機能を活かした新輸送商品の開発に取り組むとともに、運賃水準の見直し要請や軽油価格上昇に伴う燃料サーチャージの収受など、物量確保と増収に努めてまいりました。物流サービス部門では、昨年運用を開始した、インターネット通販で販売された商品の物流配送センターや、靴専門チェーン店の西日本物流センターのセンター運営では、今までに培った物流ノウハウをもとに、更なる効率化を進めながら安定運営に努めてまいりました。また、家電配送業務においては、家電量販店の配送業務だけでなく、通販業界や家具販売業界が取り扱う設置作業の伴う大型商品の配送業務を取り込むなど、取り扱い商品の拡大に積極的に取り組んでまいりました。

この結果、物流関連事業の営業収益は99億88百万円（前年同期比6.3%増）、セグメント利益（営業利益）は1億47百万円（前年同期比114.7%増）となりました。

#### [不動産関連事業]

不動産関連事業につきましては、当社グループ各社にて保有している不動産の有効活用を図るために、外部への賃貸事業を営んでまいりました。当第1四半期連結累計期間である6月からは、大阪市中央区で駐車場運営会社に賃貸している駐車場の一部に、サブリース会社に賃貸するための商業用店舗兼事務所を建築して賃貸を開始いたしました。

この結果、不動産関連事業の営業収益は98百万円（前年同期比4.1%増）、セグメント利益（営業利益）は49百万円（前年同期比6.2%増）となりました。

#### [その他]

主に、旅客自動車運送事業を営んでおります。岐阜市内の高校や近隣の大学の通学バスおよびクラブ・サークル活動などの貸切バス、冠婚葬祭時の送迎バス、さらには競輪場のファンバスなど、安全と安心を第一に、地元に着した運行業務に取り組んでまいりました。

この結果、その他の営業収益は75百万円（前年同期比7.9%増）、セグメント利益（営業利益）は4百万円（前年同期比25.8%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間の連結資産合計は278億51百万円となり、前連結会計年度比3億71百万円減少しております。この主な要因は現金及び預金の減少、受取手形及び営業未収入金の減少によるものであります。

また、連結負債合計は125億69百万円となり、前連結会計年度比3億30百万円減少しております。この主な要因は借入金の減少、未払法人税等の減少によるものであります。

連結純資産合計は152億82百万円となり、前連結会計年度比40百万円減少しております。この主な要因は配当金の支払による減少とその他有価証券評価差額金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想は、平成25年5月10日に公表した内容から変更はございません。

なお、実際の業績については、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

当連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,257	2,065
受取手形及び営業未収入金	5,250	5,111
貯蔵品	48	45
繰延税金資産	72	72
その他	452	494
貸倒引当金	△7	△7
流動資産合計	8,073	7,782
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,054	4,969
機械装置及び運搬具（純額）	994	988
土地	10,631	10,631
リース資産（純額）	274	267
建設仮勘定	6	14
その他（純額）	118	114
有形固定資産合計	17,079	16,985
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	1,534	1,607
繰延税金資産	218	208
その他	932	924
貸倒引当金	△29	△30
投資その他の資産合計	2,654	2,710
固定資産合計	20,149	20,069
資産合計	28,222	27,851

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	4,456	4,376
短期借入金	910	720
1年内返済予定の長期借入金	309	242
未払法人税等	218	48
賞与引当金	228	428
役員賞与引当金	10	5
設備関係支払手形	3	2
その他	710	741
流動負債合計	6,849	6,565
固定負債		
長期借入金	122	80
繰延税金負債	1,991	2,002
退職給付引当金	2,947	2,945
役員退職慰労引当金	104	100
資産除去債務	193	193
負ののれん	14	12
その他	677	668
固定負債合計	6,050	6,004
負債合計	12,899	12,569
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,938	1,938
資本剰余金	2,812	2,812
利益剰余金	9,850	9,756
自己株式	△174	△174
株主資本合計	14,426	14,332
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	244	293
その他の包括利益累計額合計	244	293
少数株主持分	651	656
純資産合計	15,322	15,282
負債純資産合計	28,222	27,851

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
営業収益	9,560	10,162
営業原価	9,249	9,737
営業総利益	310	425
販売費及び一般管理費	379	404
営業利益又は営業損失(△)	△68	20
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	13	13
受取賃貸料	7	6
負ののれん償却額	11	2
持分法による投資利益	2	4
その他	13	12
営業外収益合計	48	39
営業外費用		
支払利息	3	2
売上割引	1	1
債権売却損	2	3
その他	0	0
営業外費用合計	8	7
経常利益又は経常損失(△)	△28	53
特別利益		
固定資産売却益	17	14
補助金収入	11	1
その他	0	—
特別利益合計	30	16
特別損失		
固定資産除売却損	0	2
減損損失	—	4
その他	0	0
特別損失合計	0	7
税金等調整前四半期純利益	2	62
法人税等	35	47
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△33	14
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△3	4
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△29	10



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△33	14
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△46	49
その他の包括利益合計	△46	49
四半期包括利益	△79	63
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△76	58
少数株主に係る四半期包括利益	△3	5

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	物流関連 事業	不動産関連 事業	計				
営業収益							
外部顧客への営業収益	9,395	94	9,489	70	9,560	—	9,560
セグメント間の内部営業収益又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	9,395	94	9,489	70	9,560	—	9,560
セグメント利益又は損失 (△)	68	46	115	6	121	△189	△68

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バス事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△189百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社および㈱エスラインギフの総務部門等管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	物流関連 事業	不動産関連 事業	計				
営業収益							
外部顧客への営業収益	9,988	98	10,087	75	10,162	—	10,162
セグメント間の内部営業収益又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	9,988	98	10,087	75	10,162	—	10,162
セグメント利益	147	49	196	4	201	△180	20

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バス事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△180百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社および㈱エスラインギフの総務部門等管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。